

平成 28 年度霧島市地域公共交通会議事業計画（案）

1. 事業内容

平成 27 年度に策定した霧島市地域公共交通網形成計画（以下「網計画」という。）に基づき、「**地域公共交通の利用促進**」を図るとともに、住民ニーズ等に即した「**地域公共交通のサービス見直し**」を実施する。また、地域公共交通の改善に向けて、官民協働で取り組むため、「**推進体制の強化**」を図る。

1. 地域公共交通の利用促進

①公共交通マップの作成

現在、本市においては地区ごとのふれあいバスのマップはあるものの、路線バス、ふれあいバス、JR等を網羅したマップがないため、霧島市の公共交通の全体像がひと目で分かるような公共交通マップを地区ごとに作成する。

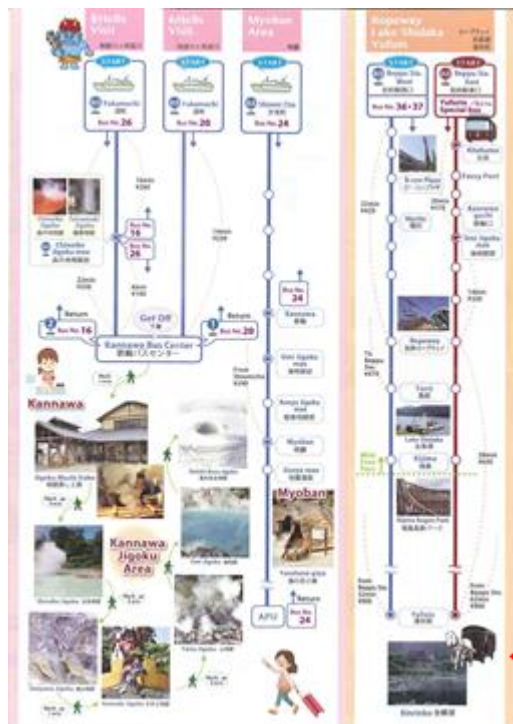
- 高齢者にも優しい文字サイズを意識するなど、限られた紙面の中で必要な情報を示し、誰もが利用しやすいものとする。
- 表紙デザインについては、手にとってもらいやすいものとなるよう十分な検討を行う。
- 霧島市ホームページへの記載を想定した「時刻表Webコンテンツ」(html形式)を作成し、公共交通マップからQRコードで当該コンテンツに誘導するような工夫を行うことで、外出先からでも簡単・スムーズに時刻表情報を収集できる環境をつくる。



②観光客用啓発チラシの作成

“市民等の生活移動”に視点を置いた公共交通マップだけではなく、“観光客の移動”に視点を置いた“観光客用啓発チラシ”を作成する。

- チラシは鹿児島空港・JR国分駅・隼人駅などの主な交通拠点（主な霧島市の玄関口）から観光資源までの所要時間や運賃、路線名などが示されたシンプルで簡単なものとする。
- チラシをまず見てもらい、“バスで安心して観光できること”を認識してもらったのち、詳細な情報を掲載している「霧島遊めぐりバスマップ」等へ誘導する役割を担うものとする。
- 観光客用啓発チラシを「pdf ファイル」にし、「ホームページ用のバナー」と一緒に観光施設や宿泊施設等の関係機関に配布することで、各事業者のホームページで情報発信してもらったり、各事業者が個々にプリントアウトして施設内で留め置き配布してもらったりすること等も想定



パンナーをクリックするとpdfをダウンロード可能に



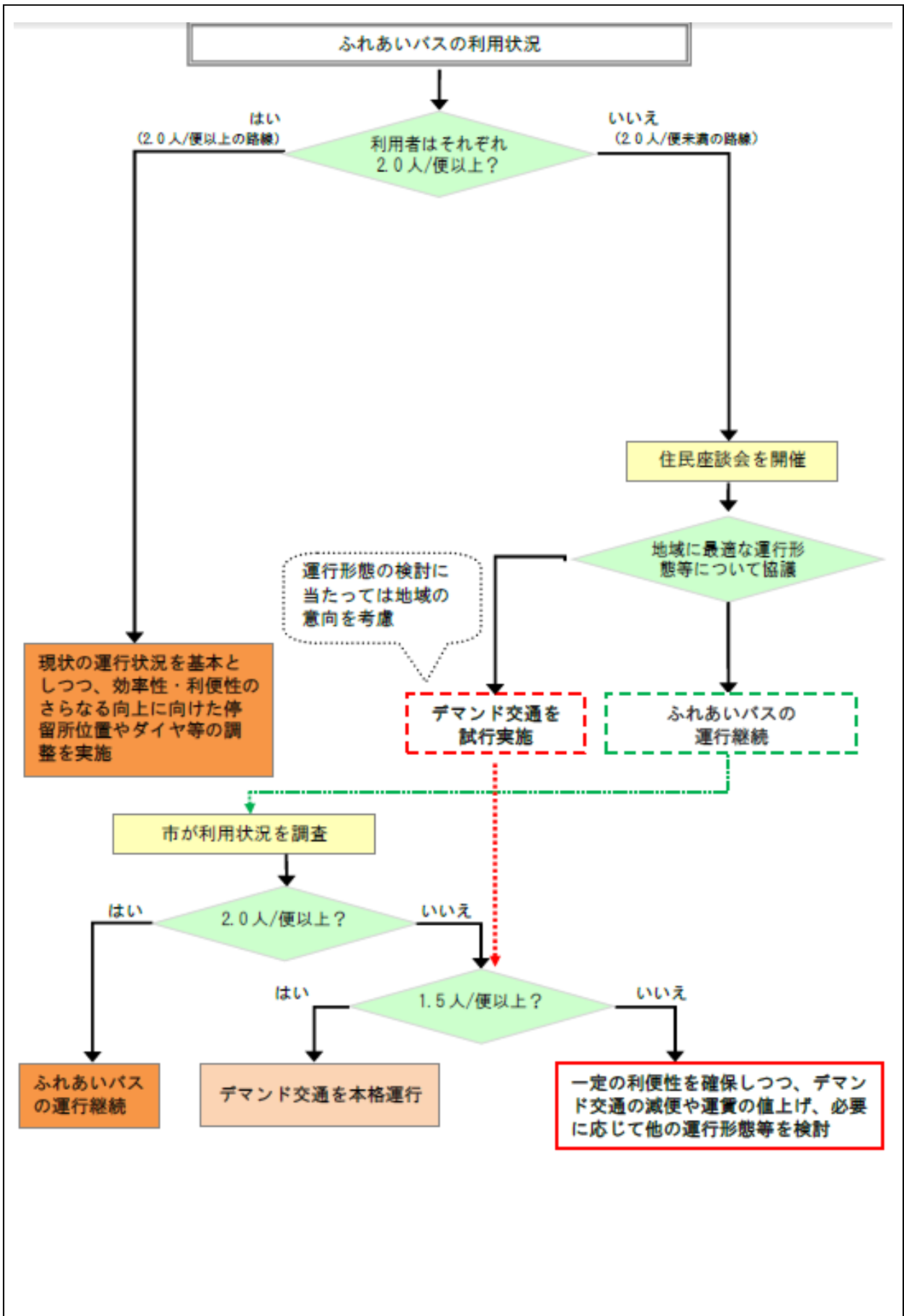
観光客用啓発チラシ PR用のバナーを協力者（事業者）に配布し、取組の周知徹底を図る！

③住民座談会の開催

ふれあいバスには、1 便当たりの利用者が 2 人未満で乗り合い利用されていない路線や、民間タクシーの利用を促しその満額を市が負担したほうが経済的な路線がみられる。そのため、地域公共交通の利用促進や地域に最適なふれあいバスの運行形態等に関する地域の意見等を把握することを目的として、利用が極端に少ない路線の沿線住民を対象に、住民座談会を開催する。

表 ふれあいバス各路線の見直しの方向性 ※網計画 P101 抜粋

便当たり 利用者数	具体路線
1 人/便未満 (14 路線)	<ul style="list-style-type: none"> ○溝辺ふれあいバス 崎森・麓・空港線、竹子・有川・空港線 ○横川ふれあいバス 山之口線、岩穴・二牟礼線 ○牧園ふれあいバス 霧島温泉コース、三体コース、持松コース、 中津川コース、高千穂コース、川影コース ○霧島ふれあいバス 神乃湯・霧島神宮駅・真方線、 市後柄・神乃湯・霧島神宮駅線 ○福山ふれあいバス 佳例川線、福山線
1 人/便以上 2 人/便未満 (9 路線)	<ul style="list-style-type: none"> ○横川ふれあいバス 小脇線、植村線、野坂・横伏敷線 ○牧園ふれあいバス 丸尾コース、万膳コース、尾谷口コース ○霧島ふれあいバス 霧島・桂内・霧島神宮駅・神乃湯線、 霧島高校コース ○福山ふれあいバス 比曾木野線
2 人/便以上	上記以外の 21 路線



2. 地域公共交通のサービス見直し

①事業改善方策案の作成

住民座談会で収集した地域住民の意見などを反映した事業改善方策案を検討する。なお、事業改善方策案を平成29年度当初予算に反映させるため、本年10月をめどに、一定の方向性をだす。なお、それ以降も、引き続き関係機関との協議等を踏まえ、事業改善案がアクションプランとなるよう、時間をかけて検討・熟成していく。

<事業改善項目 例>

- 各路線共通で運行ルートの見直しやふれあいバスと路線バスとの乗り継ぎ利便性を高めるようなサービスの改善
- 沿線住民の理解・納得のもと、デマンド交通の導入など他の移動手段の検討
- その他、地域公共交通の利用促進に向けた事業改善方策の検討

<アクションプラン イメージ>

1-1	イオン三光の施設内への中日線乗り入れ	実施 地域	中津・三元・本郷馬場・駒馬場・山国				
事業概要	○バス利用者の利便性向上のため、多くの市民が買い物等で利用する「イオン三光」の敷地内に新たなバス停を設置し、新線バス「中日線」を乗り入れることを検討・実施します。						
具体事業内容	○下図のとおりです。						
交通事業者の意見など	<大交北部バス> ○新たなバス停の設置対応は弊社が実施します。						
実施主体	イオン三光、大交北部バス、玖珠観光バス、中津市、その他関連機関						
スケジュール	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	以降
	バス停設置・乗り入れ開始						
クリアしなければならない課題や留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理者との合意形成 ・敷地内における一般車両への周知徹底と違法駐車等のマナー向上等の啓発 ・利用者・住民への周知徹底 ほか 						

3. 推進体制の強化

①（仮称）公共交通アドバイザー会議の設置

前述の「地域公共交通の利用促進に向けた事業改善方策案の作成」にあたり、協議・調整の場として、行政・交通事業者が参集する「公共交通アドバイザー会議」を設置し、公共交通の事業改善について議論を深める。

<公共交通アドバイザー会議 イメージ>



担当者レベルで、ひざを付け合せ、地域住民のニーズ、地域の実情等に応じた改善方策を議論

※各関係機関の実務担当者（交通事業者、霧島市総合支所担当者等）が集まり、本音を出し合い、共に汗をかく場とする。







②（仮称）観光交通ワーキング

次の事項等について意見交換・協議・調整等を行う場として“観光交通ワーキング”を設置する。

- 前述の「観光客用啓発チラシ」の観光施設や宿泊施設等への配布や取組周知について検討
- “宿泊事業者と行政等が共同出資して公共交通を運行する取組”等の検討
- 国（観光庁など）や県の補助制度等を念頭においた“網計画への追加が考えられる新たな取り組み・メニュー”の検討

※このワーキングメンバーとしては、市（観光部署を含む）、観光協会、観光従事者（観光施設・旅館組合等）、交通事業者等を想定している。

2. 業務スケジュール

月	地域公共交通会議	事務局
4月		 ○スケジュール検討 ○コンサルタントの選定 ○住民座談会の企画 ○公共交通マップの企画 
5月	第1回交通会議の開催（5/26）	
6月		
7月		 ○住民座談会の開催 ○事業改善案の作成 ○公共交通マップの企画 
8月		
9月		
10月		◎平成29年度予算要求
12月		 ○事業改善案の作成 ○公共交通マップの作成 ○観光客用啓発チラシの作成 
1月	第2回交通会議の開催 ※路線変更の承認等	
2月		
3月	第3回交通会議の開催 ※事業評価等	○公共交通マップの印刷 ○観光客用啓発チラシの印刷

* 事業の進捗により、公共交通会議の開催時期・回数等に変更する場合があります。

* 必要に応じ、アドバイザー会議、観光交通ワーキング会議を行います。

JR国分駅バリアフリー化促進事業について

1. 事業の目的・必要性

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅については、「平成32年度までに原則として全てについて、段差の解消、視覚障がい者の転落を防止するための設備の整備等の移動等円滑化を実施する。」旨が明記されている。

国分駅は、平成26年度における1日当たりの利用者数が5,750人であり、国の基本方針に掲げられた「段差の解消」を達成するため、エレベーター等の整備を行い、併せて、台風やゲリラ豪雨等の自然災害発生時の高齢者や障がい者等避難・移動手段についても確保する必要がある。

2. 事業の定量的な目標及び効果

現在、駅改札（1番ホーム）から2番、3番ホームに移動するためには、跨線橋へ続く階段の上り下りが必要であるが、跨線橋への連絡部分にエレベーターを設置することにより、高齢者、障がい者、ベビーカー利用者等の利便性の向上が図られる。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

- ・ 事業内容・・・改札からホームをつなぐエレベーター整備、エレベーターデッキ新設、旅客通路新設、旅客通路上屋新設、誘導ブロック、内方線整備、盲導鈴新設に伴う設計。
- ・ 事業者・・・・九州旅客鉄道株式会社

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担割合

総事業費 19,300千円

【内訳】

負担者	負担額	負担割合
国	6,433千円	33.3%
鹿児島県	3,216千円	16.65%
霧島市	3,216千円	16.65%
九州旅客鉄道(株)	6,435千円	33.4%

5. 利用者等の意見の反映

整備計画概要に関する内容のポスターを国分駅に掲示し、掲示後は整備内容に関する意見募集を行う。

※施工実施については、平成29年度以降施工予定。